

学校選択制導入にあたっての検討事項

学校選択制の目的

教育活動など学校の特色で入学する学校を選択できる機会を提供し、学校環境を活性化し教育力の向上を図る

学校選択制のメリット、課題

● 学校選択制のメリット

- ・ 子どもや保護者が意見を述べ、学校を選ぶことができる
- ・ 子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つ
- ・ 特色ある学校づくりが進められる
- ・ 開かれた学校づくりが進む

● 生野区西部地域の現状から懸念される学校選択制の課題

- ・ 学校選択を行う時期に、新たな学校の特色について具体的な情報が示されず、子どもや保護者が、自らの個性に応じた学校教育を選択する際に必要な検討ができない。
→義務教育学校の内容をしっかりと作りこむことが必要
- ・ 特定の学校への就学希望が集中することによる児童数のかたより
→小規模校のさらなる小規模化、多くの保護者から選択されない学校が生じる可能性
- ・ 地域と学校の関係性の希薄化
- ・ 学校の特色（教育方針や教育内容）により選択した学校が、近い将来で再編を予定。
→子どもや保護者が選択した学校の特色が短期間で変わってしまう。